

令和5年度第1回大阪府企業立地促進補助金審査会（府施策との整合性審査）

概要

日時	令和5年9月1日（金）15時00分から16時15分まで				
場所	大阪府咲洲庁舎25階会議室（大阪府が指定するWeb会議室）				
案件	1件				
審査委員	京都大学 大学院工学研究科 化学工学専攻 教授	河瀬 元明（会長）			
（敬称略）	エタニティラボ 代表 中小企業診断士	岡崎 永実子			
	追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 教授	藤原 直樹			
	武庫川女子大学 経営学部 経営学科 専任講師	山下 紗矢佳			

【内容審査（7項目）】

- ・審査項目
 - 1 立地する事業所で実施する事業内容
 - （1）雇用の拡充
 - （2）生産性・効率性の向上度
 - 2 立地する事業所の機能・役割
 - 3 立地企業の経営基盤等
 - （1）経営基盤
 - （2）経営改善や人材育成等の取り組み状況
 - （3）事業実績
- ・加点項目
 - 今後に向けた取り組み

【1】株式会社シキボウ堺による事業計画に係る府施策との整合性審査

- （1）事業概要
 - 他に分類されない食料品製造業の工場の立地
 - 立地場所／敷地面積／延べ面積
大阪府堺市西区築港浜寺西町／18,194.00 m²／4,957.71 m²
 - 補助対象経費／補助金額
約13.65億円／30,000,000円
- （2）補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）
- （3）審査結果：補助事業者として適当であると認定
 - 審査方法
 - ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）、また加点項目を3段階評価（3点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと（ただし、評価点は最大30点とする）
 - 審査結果
 - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が**24.75点（30点中）**であり、平均評価点が7割以上となった

○委員の主な所見

- ・加工食品とそこに使われる食品添加物の需要は世界的に増加していくと見込まれ、親会社からの受注も継続的に増加しているなかで、今後の増産を打診されている。新工場建設によって生産量を増やす計画と新規雇用の計画には合理性があると思われる。
- ・独自性のある技術を核に堅実経営をされている印象がある。新工場設立をきっかけに、効率的な生産を実現する工場を設計される点や、事業内容の高付加価値化を進めようとしている点は高く評価できる。
- ・現段階では競争力のある商品を生産しているが、今後、国際競争が激しくなった場合に備えて、長期的な競争優位の確保に向けた戦略が必要であると思われる。
- ・製品の需要拡大が見込まれていること、また、今回の投資により府内の雇用者も増加する予定であることから、補助金の対象としては問題ない。今後、事業を拡大することが見込まれているので、障がい者雇用など雇用のすそ野を広げて頂くことも検討いただけるとなお良いと思われる。